

メディアセンターの主な出来事<2016 (平成28) 年度>

メディアセンター本部

1. 海外への派遣研修

2016年より開始された米国ワシントン大学日本人ライブラリアンの招聘プログラムに採用された1名を2016年2月から半年間、また英国セインズベリー日本芸塾研究所へは5人目となる職員1名を2016年10月から3カ月間派遣した。

2. 第13回メディアセンター研修会

2016年11月17日「メタデータの現在と未来」をテーマとして開催し、職員95名が参加した。

三田メディアセンター

1. 書庫狭隘化に伴う資料再配置

山中資料センター2号棟へ電子化されている洋雑誌や、和洋議会資料、旧分類図書などを移動後、新館内の資料を資料群ごとにまとめる再配置を行った。

2. 図書館旧館免震工事による資料移動

旧館第一書庫の閉鎖に伴い、配架されていた蔵書のうち、和装本、ECの一部を外部書庫、別館Jに移動した。

3. 入館制限の緩和

育児中の利用者の研究、教育支援のため、乳幼児連れの利用者の入館を可能とした。また展示室の観覧者の年齢制限を撤廃した。

4. 利用者アンケートの実施

日曜開館に際した利用者のアンケートとして、新館入口に設置したホワイトボードの自由の記入の形で実施した。

5. 館内の施設・設備の改善

- ・1階ラウンジの新聞閲覧コーナーを3階に移動した。
- ・新館の多目的トイレに、ベビーシートおよびベ

ビーキープを設置した。

- ・地下1階から地下5階エレベーター前の壁面塗装工事を行った。

6. Webページの改訂

- ・メディアセンターへの意見・要望・問い合わせフォームを作成、公開した。
- ・刊行物の購入、寄付金用の申込フォームを作成、公開した。
- ・アインシュタイン文書とヴァレリー書簡コレクションの資料リストを作成、公開した。

7. Future Learnコース制作への協力

DMC統合研究センターが主導するFuture Learnコース「Japanese Culture Through Rare Books」(7/18公開)に貴重書高精細度画像の提供と、配布資料の確認作業で協力した。

8. 西洋初期刊本マスタークラス開催

慶應義塾スーパーグローバル事業クラスター研究推進プロジェクトで招聘した、オークションハウスChristiesの初期刊本スペシャリスト、Margaret Lane Ford氏を講師として貴重書を用いたワークショップを開催した。

9. 出版物

- ・「鏡花の書齋－「幻想」の生まれる場所－」(第28回慶應義塾図書館貴重書展示会目録)
- ・「知識の花弁—三田メディアセンターだより」No.7 (2016.4), No.8 (2016.10)

10. 学外協力活動(貴重書出品)

- ・福山城博物館「水野勝成展—その軌跡と福山藩の誕生—」(9/17~11/13)「寛永十五年肥前嶋原陣之図」[132X@71@1] 全1点
- ・渋谷区立松濤美術館「月-夜を彩る清けき光」(10/8~11/20)「竹取物語屏風 6曲一双」[133X@138@2] 他全2点
- ・安芸高田市歴史民俗博物館「没後500年記念企画展 毛利興元」(10/29~12/11)「毛利元就・

- 同隆元連署寄進状（反町文書）[130X@28@1]
全1点
- ・衆議院事務局憲政記念館「普通選挙をめざして：犬養毅・尾崎行雄」特別展（11/9～12/2）
 - 犬養毅書簡（古島一雄宛）「強気として御自慢ノ、」
 - 犬養毅旧蔵の碁盤・碁石 全2点

日吉メディアセンター

1. 企画・展示

- (1) HAPP（日吉行事企画委員会）2016年度新入生歓迎行事として、「新入生歓迎行事：ライブラリーコンサート in 日吉 - 図書館がコンサートホールになる3日間 -」を図書館内ラウンジおよびAVホールで開催した。
- (2) 塾員の後藤完夫氏が1970年に創刊し、2016年まで刊行されてきたアメリカンフットボール専門誌「Touchdown」の全号が寄贈されたのを機に、「Touchdown」本誌やアメリカンフットボール関係の図書・道具等の展示を図書館1階で行った。

2. グローバル対応

- (1) 館内マップや掲示物への英語併記を進めた。
- (2) 図書館カウンターに英語対応マニュアルを設置したほか、職員の自主的な英会話練習の会を昼休憩や定時後に開催し、職員の英語対応力向上を図った。

3. 館内の施設・設備の改修・変更

- (1) 木製閲覧機の補修や、布張り閲覧椅子の張り替えを行った。
- (2) 図書館棟外部サッシの開閉不良箇所の補修工事を行った。
- (3) AVホールのホワイトボードを固定式から上下昇降式に変更した。
- (4) デジタルサイネージを図書館入口付近に設置した。

4. サービスの変更

- (1) 小さい子をつれた学生、教職員の入館を可能

とした。

- (2) 図書館4階の研究者用フロアへの資料出納時に限った学部生の直接入室を試験的に開始した。
- (3) 館内の喧騒対策として、秋学期末試験期に特に喧噪が激しい図書館1階セミナーコーナー24席を予約制とした。

5. 資料の移動

- (1) 新書（1990年～1994年発行分 約1,100冊）を2階東閲覧室から地下書庫に移動した。
- (2) 日吉保存書庫に配架されていた三田所蔵の雑誌（約50,000冊）を山中資料センターへ移動した。
- (3) 図書館地下書庫にあった研究室の雑誌（約30,000冊）を日吉保存書庫に移動した。

6. 協生館図書室

- (1) 協生館図書室Webアンケートを実施し、集計結果を図書室Webページに掲載した。
- (2) これまで各所に分かれていた統計年鑑白書類のうち、最新版のみを集めた棚を新着雑誌棚の並びに新設した。
- (3) 英語版ホームページの図書室名表記を“Collaboration Complex Library”から“Kyoseikan (Collaboration Complex) Library”に変更した。

7. その他のトピック

- (1) 貴重書室と来往舎レファレンスライブラリーの資料にカビが発生し、専門業者によるカビ清掃と除菌作業を行った。
- (2) 来往舎レファレンスライブラリーのインベントリを実施した。（対象：11,741件）

信濃町メディアセンター

1. 第一回関連病院図書担当者連絡会の開催

従来医学部が行ってきた関連病院とのつながりをより発展させ、信濃町メディアセンターと関連病院図書担当とのサービス面での連携や協力を強める意図で、関連病院図書担当者連絡会を立ち上げること

になった。10月25日には第1回連絡会が開催された。

2. 医学部開設100年記念誌編集委員会事務局

記念誌編集委員会の事務局として、編集委員の先生方と業務委託先との調整を含む編集全般を担当。

3. 電子ジャーナル契約の現況

図書予算の増額措置、外国為替の円高基調により、大型の電子ジャーナルパッケージ契約の中止を回避するとともに2015年度に中止した重要タイトルの再契約を行った。

4. 館内施設の改修

- (1) 洗面所（地下1階男子洗面所，2階女子洗面所）の改修工事
- (2) 1階閲覧席のキャレル椅子18脚を交換
- (3) ブックポスト4台交換

5. その他トピック

- (1) 4月11日に発生した熊本地震被災者への対応として、熊本・大分両県の大学等機関（病院図書室を含む）の方に、下記のサービスを提供した。（6月末まで）
 - ・入館、館内資料の閲覧
 - ・来館・郵送による資料の複写（無料）
- (2) 北里記念医学図書館開館80年を記念し、3枚セットの記念カードを製作した。
- (3) 気象警報発令時における開館時間変更及び臨時休館措置の運用を開始した。

理工学メディアセンター

1. 館内環境・安心・安全活動

6月に館内環境・安心・安全活動ワーキンググループ（KKAA）を立ち上げて利用者の環境向上と防災対策を中心に館内の総点検を行い、年度末までに可能な限りの改善を施した。具体的には避難経路の障害物撤去、緊急放送設備の増設、感震式資料落下防止装置の取付けなどを実施し、防災マニュアルも全面改訂した。また、2017年2月には館内で避難誘導訓練を実施した。

2. ラーニングサポート拡充

前年度より開始した院生によるラーニングサポートは、スタッフを大幅に増員し専門分野の異なる9名を採用したことで幅広い相談業務が実現し、相談件数が前年度と比べて3倍に増加した。

また、ラーニングサポートスタッフ紹介展示「ひとこと企画」として、5月から2017年2月まで13回にわたり、「院へ進んだ理由」「研究室を選んだ基準」など13のテーマについて、各スタッフから寄せられた一言を展示した。

3. 資料移動と再配置

製本雑誌（1981～2010年）のうち電子ジャーナルの恒久アクセス権があるもの約18,000冊を、7月29日から8月2日にかけて山中資料センター2号棟に移動した。これを機に、山中資料センターで保管している理工所蔵雑誌の貸出期間を1日から14日に変更した。

また、本館2階の製本雑誌をすべて別館に移動させたことで、今まで館内で3ヶ所に分かれていた雑誌が2ヶ所に集約された。

4. 4K対応大型テレビ導入

10月に、理工学メディアセンター所長の笹瀬巖教授（情報工学科）より75インチの4K対応大型テレビの寄贈を受けた。2017年2月には“ひかりTV for Business”を契約し、大型画面でCNN NewsやJ SPORTSなどを視聴できるようにした。

5. イベント関連

2016年度はサイエンスカフェを2回、ビブリアバトルを1回開催した。いずれも過去最多の参加者数を記録した。また、新たな試みとして本の福袋と大型テレビ用いた動画視聴やスポーツ観戦も企画・実施した。

6. その他トピック

- (1) 理工学ITCと連携し、4月より創想館1階PCエリアに、ITCヘルプデスクを設置した。
- (2) 夏・春のオープンライブラリーにおいては、3キャンパス（日吉・理工・SFC）合同スタンプラリーを初めて実施した。ラリー達成者には、メディアセンターのノベルティグッズ

- を呈した。
- (3) 2017年2月に、本館2階に新書・文庫コーナーを新設した。

資料の保管・デジタル化に協力。また、学部で購入した展示ケースを館内に設置し看護関連の史料を展示（3月）

湘南藤沢メディアセンター

1. 施設関連

- (1) 春季休業期間中に以下を実施
- ・屋上防水および外壁補修工事
 - ・グループ学習室のブラインド交換
 - ・視覚障がい者用の歩行誘導ソフトマットの設置（1階入り口付近）

2. サービス・企画関連

- (1) 電子書籍パッケージProQuest Ebook Centralを導入（4月）
- (2) ホワイトボードを用いた「メディアセンターへのご意見・ご要望」アンケートを実施(10月)
- (3) 以下の企画を実施
- ・新歓企画「館内オリエンテーリング『カモを探そう!』」（4月）
 - ・ライティング&リサーチコンサルタントによるトークショー「レポート作成のコツ」（5月）
 - ・日経アイデアソン（11月, 12月）
 - ・メディアセンターフレンズ企画：タンデムラーニング（4月）、学生ブックマーケット（6月）、フィルミオバトル（11月）、SFC写真コンテスト（12月）、アコースティックギターコンサート（12月）

3. マルチメディアサービス関連

- (1) オンラインで3Dプリンタが利用可能なMakerbot Innovation Centerをファブスペースに導入（6月）
- (2) キャンパスの遠隔授業・遠隔会議のインフラとして導入した多地点接続システム（CMR Hybrid）の技術検証を担当（2～3月）

4. 看護医療学図書室関連

- (1) ホワイトボードを用いた「図書室へのご意見・ご要望」アンケートを実施（12月）
- (2) 慶應看護100年記念誌のためアルバムなどの

薬学メディアセンター

1. 利用者サービス

- (1) 蔵書の利用促進を目的とした企画展示を開始した。（4月）
- その広報と記録を兼ねたWebページを作成した。（1月）
- <http://www.pha.lib.keio.ac.jp/exhibition/index.html>
- (2) 館内放送用機器を設置し、閉館時間案内の放送を開始した。緊急放送にも利用する。（9月）
- (3) 地震発生時の注意を館内サインスペースと全閲覧個席に掲示した。（10月）
- (4) PCエリアの椅子を交換した。（12月）
- (5) 新着雑誌架にある雑誌のうち電子でも利用できるものにマークをつけ、書架脇に設置したサインボードに電子ジャーナルへのアクセス手順を掲示した。（2月）
- (6) 英語版Webサイトを公開した。（3月）
- <http://www.pha.lib.keio.ac.jp/en/index.html>
- (7) 外国人利用者対応に備えて「カウンター英会話集」を作成した。（3月）

2. 蔵書管理

図書関連予算の効果的な運用と書架スペースの狭小化対策のため、全ての加除式資料（32タイトル）と、他地区と重複し電子でも利用できる冊子体洋雑誌2誌（Nature, Scientific American）の継続購入を中止した。（7月, 12月）

3. その他

- ・「慶應義塾大学薬学部教育・研究年報」2013～2015が慶應義塾大学学術情報リポジトリKOARAに登載された。（2月）

メディアセンターの主な出来事2016(平成28)年度

2016

4月 5月 6月 7月 8月 9月

資料

<p>本部 および 共通</p>	<p>2015/8/1-2016/7/31 国公立大学図書館協力委員会委員長館</p> <p>2/2-8/1 米国ワシントン大学派遣研修(本部:藤本)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●4/1 KOSMOSに学術情報インデックスPrimo Centralを追加導入 ●6/1 電子ブックのDDA: Demand Driven Acquisitionを全塾で開始 ●7/1 KOARA登録件数5万件突破
<p>三田</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●4月~ 入館規制の緩和(展示観覧者の年齢制限撤廃、乳幼児連れ入館可能) ●7/4-3/8 書庫狭隘対策として、電子で利用可能な洋雑誌、外国の議会資料など、約27万冊を山中資料センター2号棟へ移動 ●7/18 FutureLearnコース「Japanese Culture Through Rare Books」に貴重書の高画質画像の提供、配布資料の確認作業で協力   <p>FutureLearnコースWebサイト</p>
<p>日吉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●4/25 新入生歓迎トークイベント「YOUは何しに慶應へ?~大学での学びと過ごし方~」参加者 27名 ●5/20、23、24 ライブラリーコンサート 参加者 373名 ●7/4-13 保存書庫にあった三田所蔵雑誌 50,000冊の山中資料センター2号棟へ移動 ●7/11 選書ツアー(学生4名)丸善丸の内本店 ●8/11 選書ツアー2016(2回目)(学生5名)丸善丸の内本店 
<p>信濃町</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●4/25-6/30 熊本地震の被災者支援として熊本、大分両県の大学等機関(病院図書室を含む)に無料で文献複写物を提供 ●7/13 医学部教授会の要請に応え、前年度に契約を中止した海外の主要な電子ジャーナル(Nature関連誌等)の契約を復活 ●7/13 データベース活用講座のメニューにJCRを新たに追加 ●8/10-8/22 洗面所(地下1階および2階の一部)の改修工事 ●9/23 医学部史料委員会が収集した医学部卒業アルバムのデジタル化に着手
<p>理工学</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●6/1-3/31 館内環境・安全・安心(KKAA)ワーキンググループを設置し、防災面での大がかりな見直しを実施 ●5/15、27 サイエンスカフェ(第10回および番外編)参加者58名+114名 ●7/29-8/2 電子ジャーナルの恒久アクセス権がある雑誌(約18,000冊)を山中資料センター2号棟へ移動
<p>湘南藤沢</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●4/1 MMLS資料およびPブックの貸出規則を変更 ●4/6 ProQuest Ebook Central Mediated DDAの試行を全塾利用に先立ち開始 ●4/20 メディアセンターフレンズ企画『タンデムラーニング』2016年度説明会を開催 ●6/4 Makerbot Innovation Centerの運用開始(3Dプリンタへの出力がオンラインで可能に) 
<p>薬学</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●4/1 蔵書の「企画展示」月1回ペースで定例化 ●5/27 第1回薬学メディアセンター学生図書委員会 ●7/1 Nature, Nature digest日本語編集版とScientific Americanの冊子体および加除式資料32タイトルの購読中止決定 ●9/1 館内案内放送運用開始

10月

11月

12月

2017

1月

2月

3月

10/23-1/28 セインズベリー日本芸塾研究所派遣研修(日吉・柴田)

●11/17 第13回メディアセンター研修会開催

●12/9「中期計画2016-2020」評議会で承認

12/15 日吉・矢上・湘南藤沢3キャンパス合同トークセッション
「決めるはムズいが役に立つー自分らしい大学生活のための決断とは!?!」 (於:日吉メディアセンター)3キャンパス
(日吉・理工・湘南藤沢)合同
オープンライブラリー開催●3/8 海外研修報告会
開催

10/3-2/14 館内資料を資料群ごとに再配置移動

12/2-2/2 利用者アンケート(館内設置ボードアンケート)実施

12/4-1/29 日曜開館

●12/7 図書館旧館免震工事に伴い、入口前のヒマヤラ杉伐採

1/11-2/7 工事に伴い、図書館旧館内の一部の資料約8万冊を外部書庫へ仮移転

●3/2 西洋初期刊本マスタークラス(ワークショップ)開催

11/4-12/26 図書館スタッフ英会話練習の会(全10回開催)

12/13-1/15 協生館図書室Webアンケート
回答数は日本語27件、英語18件2/8-10 研究室資料移動
(図書館地下書庫→日吉保存書庫)

●2/23 デジタルサイネージ設置

●10/25 第1回関連病院図書担当者連絡会の開催

●12/8 北里記念医学図書館80年の記念カード(3枚セット)を制作、配布開始



●1月~ 北里記念医学図書館正面入口に医学部開設100年記念の柱巻き装飾

●1/13, 18 医学部開設100年記念サイト掲載のため、館内での動画撮影に協力

●2/8 1階閲覧席のキャレル椅子およびキャンパス内のブックポスト4台を新調

●10/26 ピブリオバトル
出場者8名・観覧者27名

●10/27 4K対応大型テレビ設置

12/1-1/31 本の福袋 貸出数26袋



●2/6 ひかりTV導入

●2/7 新書・文庫コーナー新設

●2/22 自主防災訓練実施

●12/20, 21 4K対応大型テレビお披露目イベント
参加者32名

10/3-10/31 (看護医療学図書室:11/4-12/27) 企画『利用者の声を聞く』実施のため館内にホワイトボード設置

●11/29, 12/1 日経アイディアソンの開催
(メディア×新聞をお題にしたアイディアソン)●12/1 『書込み本』の試行開始
(生協の教科書コーナーで販売していた約70冊の書籍を「書込み可」として提供開始)

●2/1 看護医療学図書室にて図書のカバー付き配架を開始

●2/1 大規模なM館(図書館棟)補修工事を開始(屋上防水など)

●3/27 看護医療学図書室にて
慶應看護に関する史料
の常設展示を開始

●11/25 第2回薬学メディアセンター学生図書委員会

●1/1 KOARAへの「慶應義塾大学薬学部教育・研究年報」登録開始

●3/1 英語版サイト公開

●3/13
「カウンター英会話集」作成